

【Durev】

説明

解説

■ 神殿

嵐の神殿。小神。

■ 称号、職能

カールとして生計を立て、家族を守る“家長”。

■ 概略

オーランスカールが始めて土地を開き、バーンターが耕し、デューレヴが暴力にも口にもよらず懸命に働き家族を守り、生産活動を生計へと結びつけた。こうして生産者としてデューレヴは家族を担い養い大所帯にまで育て上げ、その裕福さは「ヴィングコット族の十種の宝」のうち5つまでも所有するほどであった。そしてデューレヴは「初めての立法」において、スタークヴァルが近侍の、ヴィングコットが貴人の立場を語ったように、カールとしての立場を語った。

だからこそデューレヴは、ヒョルト族の家父長の大部分、すなわちヒョルト族男性の大部分が崇める神である。

オーランスのカルトとしては家父長としての農夫といった、職業に根ざしたカルトである。

■ 異界

組織

■ 聖日

■ 大聖日

■ 相、カルト

すべての父オーランスの下位カルト。

近親

■ 両親

父親はオーランス。

母親はアーナールダ。

■ 配偶者

“農婦”オラーネ。

参考文献

- 『Thunder Rebel』 p.143、 216-217、 232-233